

日本語パートナーの方へ

① この本の特徴と使い方

Q1: 対象は誰ですか。

A: 島根県に住む 日本語を学んだことがない 外国人住民 (以下、学習者) です。

Q2: どんな教材ですか。

A: 学習者が日本語パートナーに自分に関することを

簡単な単語や表現を使って話して 交流する トピック型対話教材 です。

Q3: 何課までありますか？

A: Lesson1からLesson10 まであります。Lesson5とLesson10は「まとめ」を行う課です。

[各課のトピック]

Lesson1	日本語の勉強をはじめましょう (挨拶/学習の言葉/名前/出身/どこに住んでいるか)
Lesson2	わたしの好きなこと (スポーツ・映画・料理・音楽/ジャンル/どれくらいの頻度で行うか)
Lesson3	わたしの出身地 (どんな町か/おすすめの場所はどこか/どんな場所か)
Lesson4	わたしの国の有名な料理 (どんな料理か/どんな味か)
Lesson5	まとめ① (Lesson1~5の語や表現の復習/ <u>日本語パートナーとの対話</u> /スピーチ)
Lesson6	わたしの食生活 (朝、何を食べたり飲んだりするか/よく作るものは何か)
Lesson7	わたしの生活 (何時に起きるか/うちで何をするか/休みの日に何をするか)
Lesson8	わたしの休日 (島根でどこへ行ったか/いつ行ったか/そこで何をしたか)
Lesson9	わたしの欲しいもの・したいこと (ほしい物は何か/したいことは何か)
Lesson10	まとめ② (Lesson6~9の語や表現の復習/ <u>日本語パートナーとの対話</u> /スピーチ)

Q4: 日本語パートナーの役割は何ですか。

A: 「交流のパートナー(聞き手)」 という役割がメインです。「必要なときだけサポート」しましょう。

「先生:教える立場」「学生:教えられる立場」ではなく「パートナー」であることを意識しましょう。

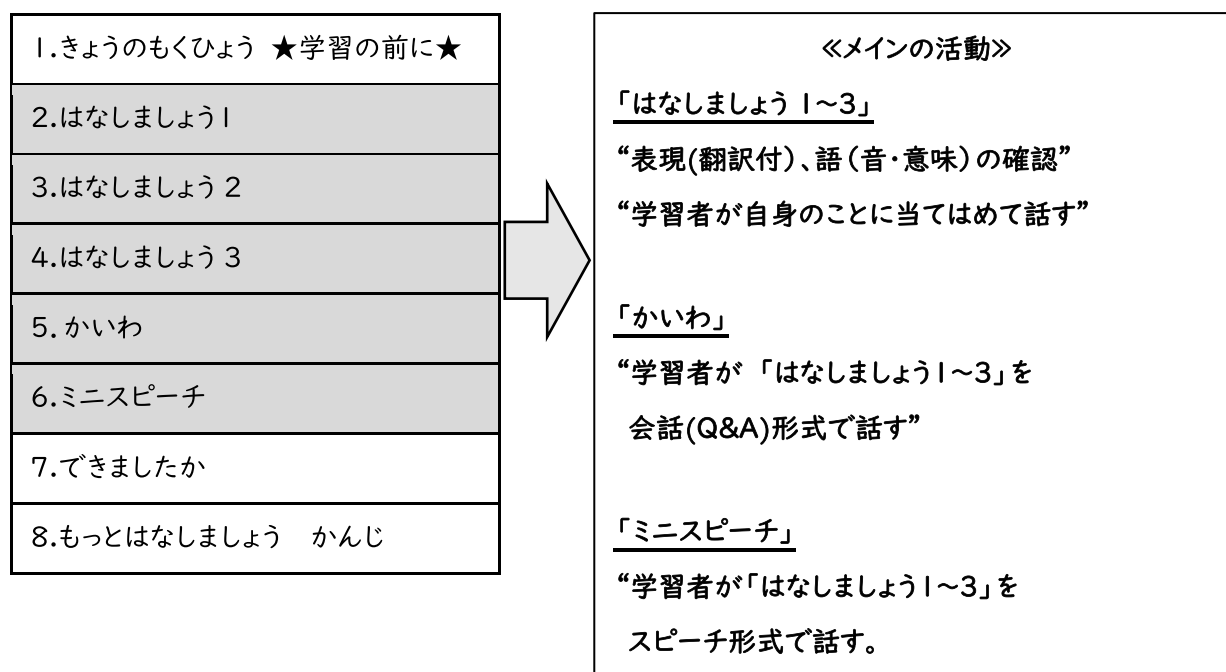
Q5: どんな特徴がありますか。

A: 以下のような特徴があります。

- ① 学習者と日本語パートナーの 「交流」を目的とした対話重視の楽しい教材です。
- ② 日本語パートナーとの 「いまここでの交流」からはじめ、
最後に 「いつかどこかでの交流」のための準備(「かいわ」「ミニスピーチ」)を行う流れとなっています。
- ③ 各 Lesson で 新しく学ぶ表現は3つだけにしています。
「はなしましょう」、「かいわ」「ミニスピーチ」が 3つの表現で成り立つようにできています。

Q6: どんな活動がありますか。どんな流れですか。

A: 以下が 各課の活動と流れです。活動は 大きく3つに分けられます。



[注意] 日本語パートナーは、学習者との「交流」を重視し、「必要なときだけ」サポートを行う。

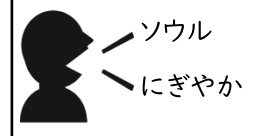
[メインとなる活動の紹介]

①「はなしましょう」「表現(翻訳付)と語(意味・音)の確認」「学習者が自身のことを話す」

はなしましょう1

サンパウロ は どんな まち ですか。
 sanpaura wa donno machi desu ka
 にぎやか です。
 nigiyaka desu

▶ What kind of town is [Sao Paulo]? - It is [lively].
 ▶ [圣保罗]是个什么样的城市? - [繁华/热闹].
 ▶ Que tipo de cidade é [Sao Paulo]? - É uma cidade [animada].
 ▶ [Sao paulo] là thành phố như thế nào vậy? - Là nơi rất nhộn nhịp.



はなしましょう2

サンパウロ は どこが おすすめ ですか。
 sanpaura wa doko ga osusume desu ka
 こうえん が おすすめ です。 パルケ イブラプエラ* です。
 kooen ga osusume desu. paruke ibrapuera* desu

*こうえん の なまえ です。
 *kooen no namae desu.
 あなた のくにの ことば ています。
 anata no kuni no kotoba de itesu.

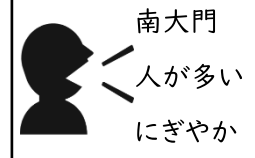
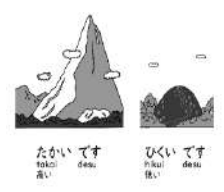
▶ What do you recommend in [Sao Paulo]? - [Park] is recommended. [Parque Ibirapuera].
 *The name of the park. The language of your country is fine.
 ▶ 可以推荐一下[圣保罗]的什么地方吗? - 可推荐[公园]。[Parque Ibirapuera]公园。
 *公园的名字。名称可使用母语。
 ▶ Onde você recomenda em[São Paulo]? - [Parque]é recomendado.É[Parque Ibirapuera].
 *Nome do parque. Pode falar em sua língua nativa.
 ▶ Bạn có thể chỉ cho tôi một vài nơi nổi tiếng tại[Sao paulo]được không?
 - Tôi sẽ giới thiệu cho bạn Công viên. Công viên [Parque Ibirapuera].



はなしましょう3

パルケ イブラプエラ は どんな こうえん ですか。
 paruke ibrapuera wa donna kooen desu ka
 おおきい です。
 ookii desu

▶ What kind of [park] is [Parque Ibirapuera]? - [It is big].
 ▶ [Parque Ibirapuera]是个什么样的[公园]? - 是个[大] [公园]。
 ▶ Que tipo de[parque][Parque Ibirapuera]? - É um grande parque.
 ▶ Công viên [Parque Ibirapuera]là công viên như thế nào vậy? - [Là một công viên lớn].



②「かいわ」

「はなしましょう」で話した内容を
 会話形式(Q&A)で話す。

パートナー:ソウルは、どんなまちですか。
 学習者:ソウルは、にぎやかです。
 パートナー:ソウルは、どこがおすすめですか。
 学習者:市場がおすすめですか。南大門です。
 パートナー:南大門は、どんな市場ですか。
 学習者:南大門は、にぎやかです。大きいです。
 人が多いです。

③「ミニスピーチ」

「はなしましょう」で話した内容を
 スピーチ形式で話す。

わたしは韓国のソウル出身です。
 ソウルは、にぎやかです。
 ソウルは、市場がおすすめですか。
 南大門です。
 南大門は、にぎやかです。大きいです。
 人が多いです。

Q7: どうして「交流」を大切にするのですか。

A: 外国人住民は、「人々とのつながり」「ここにいていいのだと思える場所」

「地域とのつながり」を求めています。外国人住民が求めることは日本語学習だけではありません。

[外国での生活の心理的負担]

あなたが 全く言葉がわからない外国にいる として考えてみてください。

- 1.ありのままの自分でいられる場所はあるでしょうか。
- 2.自分が社会に必要とされ役に立っていると思える場所があるでしょうか。
- 3.等身大の自分を取り戻せる場所があるでしょうか。
- 4.周囲から受け入れられていると思える場所があるでしょうか。

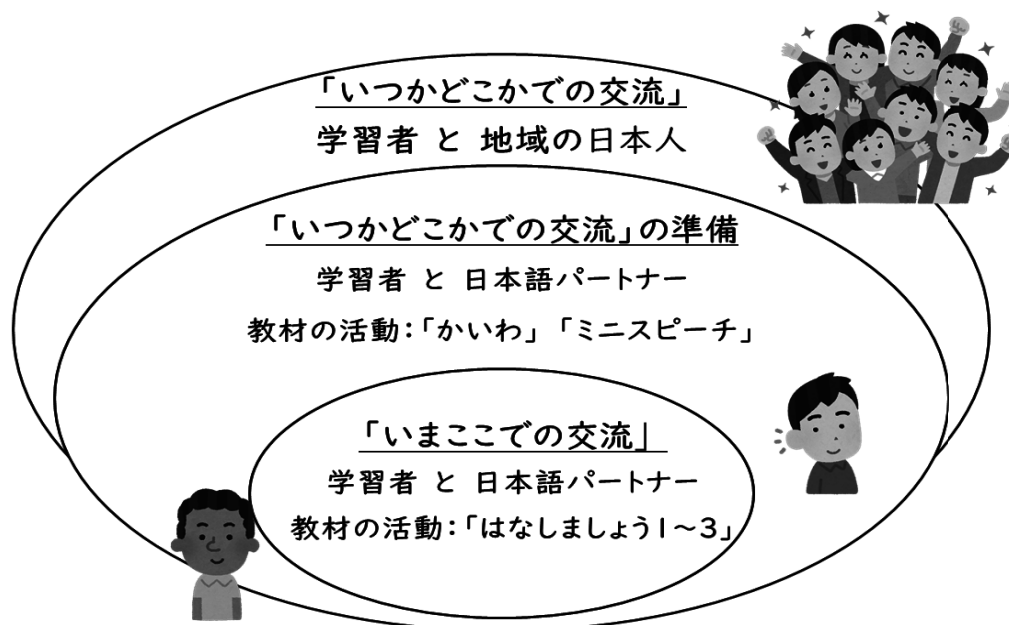


[日本語パートナーに求められるのは4つ]

- ① 交流のパートナー(聞き手)になること
- ② 相手個人やその人の国に興味を持ち、心から知りたいと思うこと
- ③ 相手が伝えようとしていることを 理解しようとすること
- ④ 相手が伝えようとしていることを わかりやすく やさしい日本語で 言い換えること

学習者の「人とのつながり」「居場所づくり」は、あなたとの「交流」から始まります。

あなたとの”いまここでの交流“ から ”いつかどこかでの交流“へと広がるサポートをしましょう。



Q8: 「学習者との交流」で注意することはありますか。

A: 「対話」の姿勢を意識しましょう。できるだけ、「教える場面」を少なくしましょう。

日本語パートナーが 学習者と対話の姿勢で交流すること自体が教えること になります。

「先生:教える立場」「学生:教えられる立場」の関係では、学習者が求める「交流」になりません。

Q9: 「対話の姿勢」とは、どんな姿勢ですか。

A: ここでいう「対話(Conversation)」とは、「共に向き合うこと」です。

●対話:Conversation [語源] con-(共に)+vertere(向く)+tion

“互いがつねに相手を意識し 相手に向かって表現し 相手の表現を理解しようとすること“

Q10: 「対話」の姿勢で心掛けることは何ですか。

A: 対話するとき、以下のようなことを心がけましょう。

1. 「相手を意識し 相手に向かって表現する」

- ① 相手の知っている単語や表現を使う
- ② 短い文で話す
- ③ はっきりとした発音で、ゆっくりと話す
- ④ はっきり最後まで言う
- ⑤ 「です」「ます」で話す
- ⑥ 余計なことばや情報は言わない

2. 「相手の表現を理解しようとする」

- ① 相手の言葉をときどき繰り返して確認する ☆
- ② わからないときは、明確となるように聞き返す ☆
- ③ 相手の話のポイントを やさしい日本語でまとめる ☆

学習者と対話の姿勢で
交流することが教えること
につながります

[大切なこと]

日本語パートナーは、「相手の表現を理解しようとする」ことを第一に考えましょう。

「相手の言葉をときどき繰り返して確認する」

「わからないときは、明確となるよう聞き返す」

「相手の話のポイントを やさしい日本語でまとめる(=言い換える)」 ことをしましょう。

日本語パートナーが「対話の姿勢」を意識して交流すれば、交流を止めずに自然な流れで日本語学習を支援することができます。

Q11: どんなやりとりが対話ですか。

A: 「対話ではない例」と「対話の例」を見てみましょう。「対話ではない例」は「交流」と言えません。

[対話ではない例 X]

パートナー: いつ、日本へ来ましたか。 はい。教えてください。

学習者: きょうねんの くげつ きた。

パートナー: ちがいます。「きょうねん」じゃなくて「きよねん」

「にほん きた」ではなく、「にほんへ きました」です。もう一度!

学習者: は、はい。きょうねん の くげつに

パートナー: あ、また!ちがいますよ。きよねん の くがつ!

[対話の例 O]

パートナー: いつ、日本へ来ましたか。

学習者: きょうねんの…

パートナー: きよねんの。はい。

学習者: きよねんの くげつ。

パートナー: え? くげつ? くがつ?

学習者: あー、くがつ よか

パートナー: あー、九月! くがつ ようか。九月八日ですか。そうですか。

学習者: はい。九月八日です。

Q12: 「交流を止めずに自然な流れで学習を支援する」には、どうしたらいいですか。

A: 「教える」ではなく、できるだけ「対話の姿勢」で接することが 大切です。

[交流が止まる例 X]

パートナー: いつ、日本へ来ましたか。

学習者: きょうねんの くげつに

パートナー: ちがいます。「きょうねん」じゃなくて「きよねん」。

「くげつ」じゃなくて「くがつ」です。もう一度!

学習者: は、はい。きよねん の くがつに にほん きた。

パートナー: ちがいます。「にほん きた」ではなく、「にほんへ きました」です。もう一度!

[交流を止めない例 O]

パートナー: いつ、日本へ来ましたか。

学習者: きょうねんの くげつ ようか にほん きた。

パートナー: あ~ そうですか。きよねんの くがつ ようか に にほんへ きました。

学習者: はい。きよねんの くがつ ようか に にほんへ きました。

Q13: 交流を中断させない工夫で、その他の注意点はありますか。

A: 正しい発音、正しい語順で話すことは大切ですが、ある程度の間違いは許容しましょう。

- ① 「完璧な日本語」「正しい日本語」「母語話者レベルの日本語」まで求めない。
外国語として日本語を話すとき、間違いがあるのは当たり前です。
- ② 間違いが意思疎通に支障をきたす、または本人の不利益になるものは積極的に訂正しましょう。
例) 主人は、カンゴクに住んでいます。(=主人は、韓国に住んでいます。)
今日は、とてもデンキがいいですね。(=今日は、とても天気がいいですね。)

Q14: 具体的には、どのように教えたらいですか。

A: 以下で①Lesson1、②Lesson2・3・4・6・7・8・9、③Lesson5・10に分けて紹介します。

①[Lesson1]

★学習の前に★	心掛けること・活動の確認 始める前に、日本語パートナーは、 <u>心掛けること、ウォーミングアップの内容を確認してください。</u>
きょうのもくひょう	目標の確認 学習者に翻訳(英語・中国語・ポルトガル語・ベトナム語)を読んで確認してもらいます。 <u>日本語を読ませる必要はありません。</u>
1. あいさつ	1) 意味の確認 学習者に表現とイラストに目を通してもらいます。 <u>意味がわからないものがあれば、補足説明をしましょう。</u>
	2) 音声の確認 日本語パートナーは <u>一つずつ指さしながら、ゆっくり読みましょう。</u> 学習者に <u>リピート</u> してもらいます。
2. がくしゅうのことは	1) 意味の確認 学習者に表現とイラストに目を通してもらいます。 <u>意味がわからないものがあれば、補足説明をしましょう。</u>
	2) 音声の確認 日本語パートナーは、 <u>一つずつ指さしながら、ゆっくり読みましょう。</u> 学習者に <u>リピート</u> してもらいます。
3. じこしょうかい	会話①(日本人の自己紹介例)
	1) 会話(翻訳)の確認 学習者に会話①の翻訳を読んで確認してもらいます。
	2) 会話の音声の確認 日本語パートナーは <u>1文ずつ指さしながら、ゆっくり読みましょう。</u> <u>リピートしてもらう必要はありません。</u>
	3) 対話 日本語パートナーは <u>自分自身のことを当てはめて自己紹介</u> をします。
	会話②(学習者の自己紹介例)
	1) 会話(翻訳)の確認 学習者に会話②の翻訳を読んで確認してもらいます。
2) 会話の音声の確認 日本語パートナーは <u>1文ずつ指さしながら、ゆっくり読みましょう。</u> <u>学習者にリピートしてもらいましょう。</u>	
3) 対話 学習者に <u>自分自身のことを当てはめて自己紹介</u> してもらいます。 <u>自己紹介の前に「ノート」の「ミニスピーチ」に書いてもらいましょう。</u> 書くときは、ローマ字、ひらがな、カタカナ、何でも構いません。	
できましたか	1) 学習者の自己評価 学習者に自身の学習について自己評価してもらいます。
	2) 日本語パートナーの自己評価 自身の関わり方について自己評価をします。

② [Lesson2・3・4・6・7・8・9]

★学習の前に★	心掛けること・活動の確認 始める前に、日本語パートナーは、 <u>心掛けること、ウォーミングアップの内容を確認</u> してください。
きょうのもくひょう	目標の確認 学習者に翻訳(英語・中国語・ポルトガル語・ベトナム語)を読んで確認してもらいます。 <u>日本語を読ませる必要はありません。</u>
はなしましょう1	1) 会話(翻訳)の確認 学習者に <u>会話の翻訳を読んで確認</u> してもらいます。
	2) 会話の音声の確認 日本語パートナーは、 <u>1文ずつイラストも指さしながら、ゆっくり読み</u> ましょう。学習者に <u>リピート</u> してもらいます。
	3) 語の意味の確認 学習者に語とイラストに目を通してもらいます。 <u>意味がわからないものがあれば、補足説明</u> をしましょう。
	4) 語の音声の確認 日本語パートナーは、 <u>1語ずつ指さしながら、ゆっくり読み</u> ましょう。学習者に <u>リピート</u> してもらいます。
	5) 対話【1】 日本語パートナーは、 <u>学習者にあつた内容に変えて質問</u> します。 例)「サンパウロはどんなまちですか」⇒「ソウルはどんなまちですか」 【2】 学習者に <u>自分自身のことを当てはめて話</u> してもらいます。 【3】 日本語パートナーは、「 <u>対話の姿勢</u> 」で接します。 「相手の言葉をときどき繰り返して確認する」 「わからないときは、明確となるよう聞き返す」 「相手の話のポイントをやさしい日本語でまとめる(=言い換える)」
はなしましょう2	「はなしましょう1」と同様。
はなしましょう3	「はなしましょう1」と同様。
かわい	会話練習 「はなしましょう1～3」の対話を会話形式(Q&A)で話します。 <u>日本語パートナーが質問する側、学習者が質問に答える側</u> となり練習します。 話す内容は「はなしましょう」と同じでかまいません。 必要があれば、前のページの「はなしましょう」に戻り、確認してもかまいません。
ミニスピーチ	スピーチ練習 「はなしましょう1～3」の対話をスピーチ形式で話します。
	1)日本語パートナーは、 <u>1文ずつ指さしながら、ゆっくり読み</u> ましょう。 2)学習者に <u>自分自身のことを当てはめてスピーチ</u> してもらいます。 スピーチの前に「 <u>ノート</u> 」の「 <u>ミニスピーチ</u> 」に書いてもらいましょう。 書くときは、ローマ字、ひらがな、カタカナ、何でも構いません。
できましたか	1)学習者に3段階で 自己評価 してもらいます。
	2)日本語パートナーは「【日本語パートナー】 <u>できましたか</u> 」を 自己評価 します。
もっとはなしましょう	対話 新しい語を紹介した後、扱った表現を使って自由に話しましょう。 例)まつえじょう は おおきいです。ふるいです。
かんじ	入力練習 携帯電話、スマートフォン、パソコン、タブレット端末などに入力する練習をします。書く練習は必須ではありません。

③ [Lesson5・10]

★学習の前に★	心掛けること・活動の確認 始める前に、日本語パートナーは、 <u>心掛けること、ウォーミングアップの内容を確認</u> してください。
きょうのもくひょう	目標の確認 学習者に翻訳(英語・中国語・ポルトガル語・ベトナム語)を読んで確認してもらいます。 <u>日本語を読ませる必要はありません。</u>
タスク 1	語彙と表現の復習 (Lesson1～4または Lesson6～9) 該当する Lesson のページをいっしょに見ながら、 <u>どんな言葉があったか、どんな表現があったかを簡単に確認</u> しましょう。 ※該当する Lesson の全ての語や表現をリピーターさせる必要はありません。
タスク 2	対話の復習 (Lesson1～4または Lesson6～9) 1) 学習者に <u>学習した表現や語を使って質問</u> してもらいます。 該当する Lesson の内容であれば、どんな質問でも構いません。 2) 日本語パートナーは、「 <u>やさしい日本語</u> 」で質問に答えましょう。
タスク 3	ミニスピーチの復習 (Lesson1～4または Lesson6～9) 1) 学習者に、 <u>該当する Lesson の中から1つを選択</u> してもらいます。 学習時に難しかった Lesson から選ぶことを勧めましょう。 2) 選択した Lesson の <u>ミニスピーチを復習</u> しましょう。 3) 学習者に <u>テキストを見ずに、ミニスピーチ</u> をしてもらいます。 4) できれば日本語パートナーは、 <u>学習者のミニスピーチを動画に撮り</u> ましょう。 ※余裕がある学習者の場合は、複数の Lesson の内容を組み合わせて、少し長いミニスピーチを作ってもらっても構いません。
できましたか	1) 学習者に3段階で 自己評価 してもらいます。 2) 日本語パートナーは「【日本語パートナー】できましたか」を 自己評価 します。